



にし いち げん き つう しん

西一元氣通信



茶の花ちゃん

～ 西砂学習館運営協議会便り ～

茶の木くん

1面：西砂学習館みんなのクリスマスコンサート
2面：にしすな夜間塾 / 認知症予防講座 / 地元を学ぼう
3面：西砂川での災害を考える / 殿ヶ谷分水開削300年記念講座
4面：西砂学習館で開催される催物・講座 / 地域再発見

編集・発行 西砂学習館運営協議会
(西砂町 6-12-10 西砂学習館内)
☎/FAX 042 (531) 0431
[西砂学習館メールアドレス]
nishisunagakusyukan@city.tachikawa.lg.jp

西砂学習館みんなのクリスマスコンサート



コントラバスとピアノでクリスマスソングを演奏しました。コントラバスをメインとするコンサートは貴重です。コントラバスの優雅で重厚な音色と、優しく軽やかなピアノの音色が奏でる演奏会で、参加者はクリスマスが待ち遠しくなったのでは🎵。

コントラバスの奏者は川野朝葉さん、ピアノの奏者は安野美咲さんです。川野朝葉さんは西砂町の出身の方、地元でコンサートのお披露目です。



地域学習館運営協議会が企画運営する講座は「地域活性化講座」と言うんだ。



講座には大きな柱4本（地域の居場所作り・地域の発見・新住民の地域デビュー・その他）があって、「子ども向け」「保護者対象」「大人向け」の対象別に分けられているんだよね。

にしすな夜間塾

新住民の地域デビュー＆保護者対象



子どもとこんなに触れ合ったのは、何年ぶり？

〈第4弾〉体操を楽しもう

大人の背中に乗ってはがれません！お父さん・お母さん頑張って！明日は、久しぶりに体が痛いかな？今回は「西砂会館」で開催しました。コロナの関係で、日中にも開催しても、講座の名前は「夜間塾」！！コロナが終息したら、食事付きで夜間開催に戻ります。コロナ退散！！

認知症予防講座

その他＆大人向け



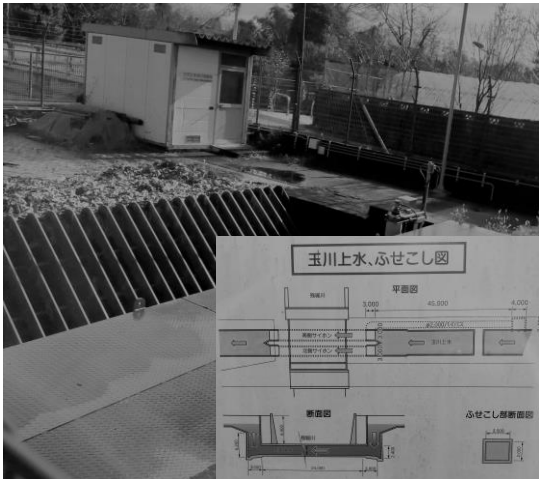
毎年受講して、認知症にはならないぞ！

認知症予防に良い食べ物をご存知ですか？

ブロッコリー・アサリの味噌汁・キノコ・青魚・カレー・えごま油・亜麻仁油 などです！！！！
アルツハイマー型認知症は、異常なたんぱく質（アミロイド β タンパク質）から、リン酸タンパク質が流れ出し脳細胞を痛めます。歌と体操やタイミング良い手拍子で認知症を予防。

地元を学ぼう

地域の発見＆大人向け（子どもも含む）



玉川上水が、残堀川の下を流れている場所をわかっていませんか？

3回開催。①立川はなぜ立川と言うのか。②砂川の成り立ち。③砂川を歩こう。3回目は散策で歩きました。立川っ子や砂川産まれのものでも知らないことは沢山あります。右の写真は、子安伝先生の顕彰碑。玉川上水に掛かる橋の旧名称等々。



西砂川での災害を考える

その他&大人向け（子どもも含む）



共助の要は自治会にあり😊

〈第5弾〉自治会として何を考えようか！

今回は、西砂町・一番町の自治会の皆さんにお集まり頂いての開催です。事前アンケートでは、「自治会員の安否確認」が一番多い回答でした。震度6強では、這わないと動けない。「3・3・3の法則」（発災3分間、次の3時間、次の3日間）等を学びました。

※ 上記の講座で配布された資料をご希望の方は、西砂学習館にご連絡下さい。残数の範囲でお渡しいたします。🇯🇵

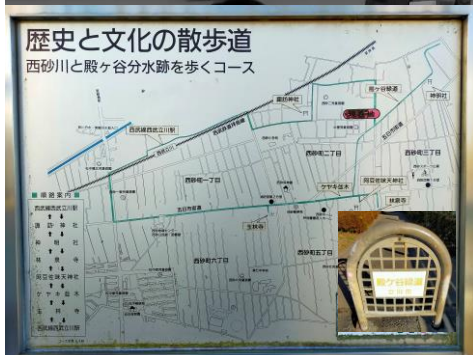
ウェブサイト「みんなの西砂川」でもご覧になれます。

たちかわ市民交流大学市民推進委員会 主催

殿ヶ谷分水開削 300 年記念講座
武蔵野の新田開発と川崎平右衛門



みんなの西砂川
QRコード



殿ヶ谷分水は享保5年（1720年）に開削され、令和3年（2021年）は開削300周年に当たります。徳川吉宗の命を受け武蔵野の新田開発に携わった川崎平右衛門の功績と、歴史を学びました。講師は、川崎平右衛門顕彰会事務局長の蔦谷栄一さんと、立川民俗の会会長の豊泉喜一さんです。川崎平右衛門は、公金貸付と貯穀の一体化や農民の持つ力、協同する力を引き出し、農業経営を安定化させ、年貢増徴を引き出しました。

殿ヶ谷分水が開削され、水利の便がなかった地域に、殿ヶ谷、宮沢、中里の三つの新田が砂川村より凡そ100年遅れて開発され、明治12年（1879年）には芋窪新田等と共に砂川村に編入されています。殿ヶ谷分水は青梅線拝島駅東にある玉川上水左岸より取水し、残堀川に流入するまで4,217メートルを流れていた西砂の母なる川でした。現在は覆蓋工事が施され水路跡は緑道となっています。

西砂学習館で開催される催物・講座について

日時等は、「立川市ホームページ」
「広報たちかわ」でご確認下さい。

講座は概ね毎年開催されるシリーズものとなっています

地域活性化講座（西砂学習館運営協議会が主催の講座）

- ・西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～（夏休み期間中に開催）
- ・パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾（年2回開催予定）
- ・地域の再発見・地元を学ぼう！（西砂川地区を中心とした内容）
- ・西砂川での災害を考える（西砂川地区に内容を絞ったり、災害全般について）
- ・認知症予防講座（講師は北部西かみすな地域包括センターの皆様等）

催物等（西砂学習館・市民主催の講座）

- ・西砂学習館まつり（毎年、5月下旬の金曜日から日曜日にかけて開催）
- ・クリスマスコンサートや寄席（地域のだれもが、身近な場所で、しかも本物の文化に触れることができる貴重な機会を提供）
- ・子ども観劇会（未就学児対象の事業でも、誰もが心を打つ素敵な演劇）
- ・懐かしい歌をご一緒に（年3回開催、参加者皆で歌って元気！元気！）
- ・クラシック音楽入門講座（音楽家の生涯と併せて、作曲した音楽を深く学ぶ）
- ・パソコン講座（市民企画講座、ムービーの作成、エクセル・ワードの習得）
- ・交流クッキング（テレビチャンピオンで優勝された方が講師となる時も！）
- ・市民リーダーの講座や環境・子どもプロジェクトの講座も開催

地域再発見 西一散歩

「拝島大師のダルマ市」（西砂川の方言）

正月の二日と三日に開かれる拝島大師のダルマ市は、大変な賑わいを見せた。昔から、近郷近在の人々の信仰を集め、ダルマ市と同時に、サーカスや見世物小屋、出店等も多く、正月のレクリエーションの場でもあった。ここ砂川の人々も、子どもどうし・一家揃って、ダルマ市に出かけたものである。砂川から拝島大師まで、約一里半の道を皆歩いて行った。拝島大師の広い境内には、ダルマ屋だけで三十軒ほど出た。他にも、オモチャ屋、洋品雑貨を売る店、飲食店などの屋台が、軒を連ねた。ダルマを買う人、サーカスや見世物を見る人、店をひやかす人等で、境内はごったがえした。

正月の二日と三日に開かれる「あ行」
あしっこ（足跡…家の周りも柔らかい土だったので、泥棒の足跡もくつきり付いたため）ここにあしっこがある等と使った。
あぜっぼー（畔）
あにー（なにー）
あんだっけ（なんだっけ）
あんだって（なんだって）
あんべーわりー（塩梅）あんなばい
悪い（注病気等で具合が良くない・農具や農機具の調子が悪い・扱いにくい時等使った）

「立川の年中行事」より

「西砂川方言辞典」から